



新たな世紀を迎え、私たちを取り巻く環境が大きく変化する中、熊本県では、付加価値を高め競争に負けない力強い産業を築きあげていくため、新たな技術や製品、品種の研究開発と普及、資金面での支援、情報交流・発信の場の提供などの施策を進め、積極的に生産技術の高度化に取り組んでいます。

今回の特集では、生産技術を高めるために、県が各産業に携わる方々と力を合わせて進めている主な取り組みについてお伝えします。

特集 1

力強い産業を築く 生産技術の高度化

工業 工業の分野では、産・学・行政が連携した共同研究などを通して地域企業の研究開発力や技術力の向上に取り組むとともに、特許に関する相談、新たな事業創出の支援などに努めています。

産学行政連携による共同研究

地域結集型共同研究事業 ～超精密半導体計測技術開発～

携帯電話や家電製品をはじめ、さまざまな産業機器に組み込まれて使われているICの集積度をさらに高めるため、0.1ミクロン（1ミリの1万分の1）以下の半導体の計測技術の確立をめざし、企業、大学、公設試験研究機関などが連携して研究開発を行っています。

これにより、製品などの小型高性能化、低消費電力化が一層進むことが期待されます。また、半導体に関する将来にわたる良質な人材供給のための教育・研修システムの構築をめざしています。



■お問い合わせ先／(財)熊本テクノポリス財団(地域結集型プロジェクト推進室)
☎096-286-3311 FAX096-286-2938

工業生産技術の研究・開発

環境にやさしい金属 ～マグネシウム合金～

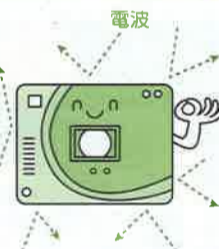
環境に優しい素材として注目されているマグネシウム合金を、私たちの身近にある製品に利用するため、その作り方とリサイクルについて研究を行い、県内企業で製品化しています。



パソコンのケースに使われているマグネシウム合金

電波を通さないゴム ～電磁波シールドゴム～

金属とほとんど同じように、電波を通さないゴムを開発しました。このゴムを使いすき間をうめることで、外からの電波による誤作動を防ぐことができ、安全で信頼度が高い機器を作ることが可能になりました。



デジタルカメラなどに使われています

焼酎製造にもリサイクル ～繰り返し仕込み法～

環境保全のため、焼酎を作るときに出る蒸留粕(かす)の処理が問題になっています。蒸留粕を資源としてとらえ、仕込水に何回も再利用する焼酎製造法を研究して、焼酎粕のリサイクルを推進しています。



ICの寸法を測る装置 ～IC検査装置～

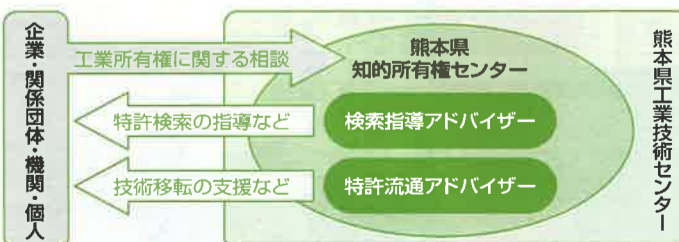
パソコンなどに使われているICは、工場から出荷される前に正しい寸法に仕上がっているか検査を行います。今回、人よりも速く、正確に行うことができる検査装置を開発。作業の効率化が図られました。



■お問い合わせ先／熊本県工業技術センター ☎096-368-2101 FAX096-369-1938

特許に関する相談

新しい商品や技術の開発を行う際の事前調査の方法、他者の技術を使用したいときの技術移転の方法など、特許の検索から取引までのご相談を受け、お手伝いをしています。特許情報の検索は検索指導アドバイザー、特許の取引は特許流通アドバイザーが無料で対応しています。



■お問い合わせ先／熊本県知的所有権センター(熊本県工業技術センター内) 検索指導 ☎096-360-3291 特許流通 ☎096-331-7023

新たな事業の支援

賃貸工場(熊本新事業支援施設)への入居開始

益城町のテクノリサーチパーク内に賃貸工場が完成し、10企業の入居が開始されました。入居企業は、ここで半導体製造関連機器やソフトウェアなどの研究・開発を行い、熊本の将来を担う新しい企業として育つことが期待されます。



■お問い合わせ先／(株)テクノインキュベーションセンター ☎096-352-2328 FAX096-352-2328

